

『したからのぼらない』
『たったまますべらない』

箱ブランコや雲梯(うんてい)など公園の遊具による事故が相次いだのを受けて、メーカーなどの業界団体「日本公園施設業協会」は二十一日までに、遊具の対象年齢や遊ぶときの注意点が一目で分かる子ども向けの表示シールを作製した。

遊具の支柱などに張り付け、子どもに注意を促して事故を減らす狙い。加盟メーカーや公園を管理する全国の自治体に協力を求める。

シールは直径二十四センチの円形に対象年齢を大きく示したもののほか、す

遊具に子ども向けシール

業界団体が防止策
コケ受け 事故
箱ブランコ

べり台では「したからのぼらない」「たったまますべらない」など、遊具ごとに注意を書いたものを作製。
出入り口付近に掲示する大型版では、事故が起きたときの連絡先や最寄りの公衆電話までの地図も表示する。

国土交通省によると、公園の遊具で一カ月以上のけがを負った事故は、二〇〇二年度までの六年間で七十四件。子育てを支援する約二千八百団体で組織する「全国地域活動連絡協議会」も、夏休みを前に全国三十二都道府県で公園の遊具の安全点検を始めている。

国交省は「設置する側と利用する側がそれぞれ安全への意識を高める」ことで事故が減ってくれば」と表示シールが事故の減少につながることを期待している。

↑
遊具の対象年齢や注意点が一目で分かる子ども向けの表示シール

